

無償資金協力の包括的改善について

課題	取組み方針	改善策
1 入札の不落・不調の頻発 応札企業が少ない	リスク対応能力の強化	●予備的経費の本格運用
	リスクの低減 (開発途上国における事業リスク、無償資金協力の調達制度・契約上のリスク)	●相手国負担事項の履行強化
		●施工段階を見据えた早い段階からの情報収集・分析・共有 (自然条件、現地施工業者情報の提供、調査段階における関心企業向け事業説明会の開催)
		●施工安全管理や施工監理の充実化(必要な人月・費用の手当)
		●G/Aの改訂 (JICA・相手国政府の権利・義務の明確化、基本約定(GTC)の導入) ●調達手続きの見直し(調達ガイドラインの改訂) (入札期間の延長、質問回数複数化、各種要件・手続きの明確化、設計変更等手続きの合理化) ●契約書雛型の改訂 (施設整備案件での一般契約条件書・総価契約単価合意方式の導入)
2 品質確保の強化	調査内容の充実化	●調査内容の充実化 (相手国負担事項、自然条件調査、安全管理対策の検討等)
	実施監理時の体制強化	●コンサルタントによる内部照査の充実化 ●工事品質管理会議の導入 ●実施監理時のコンサルタント実績評価の導入 ●JICAによる事後監理体制の強化
3 多様化するニーズへの対応	ニーズ対応能力の強化	●サブスキームの見直し ●多様化するニーズに対応した運用手法の改善 (医療機材案件における維持管理を含む運用の拡充、地方自治体や民間企業との連携強化等)